

5 訓練用水消火器訓練

1 ねらい

充填が比較的容易で繰り返し使用できる訓練用水消火器を利用し、実際の消火器と同じ操作方法の消火器を取り扱う訓練です。工夫次第でいろいろな形式で、子どもたちとも一緒に実施することができます。

2 必要なもの

(品目)	(数量)
訓練用水消火器	30 (詰め替え可能な場合は、15本)
エアーコンプレッサー	1
コードリール (延長コード)	1
水槽 (蛇口からでも可能)	1
消火器カットモデル	1 (あれば)
水消火器用の的	1セット

ちょっと アドバイス

的にも工夫を

的 (まと) にはさまざまなものが考えられます。上手に消火器を使用し確実に的中させることや、放射時間内ですべての的的中させることができるような工夫があると、より実践的な訓練になります。(的については消防署にも相談してみましょう)

3 子どもと一緒に楽しみながら訓練

的を工夫することにより、子どもたちもゲーム感覚で楽しみながら模擬消火体験をすることができます。

- (1) ペットボトルに少量の水を入れた的
放射時間内に的中可能な数量は、8～9個程度です。
ボーリングゲームのように並べて倒すのも楽しくできます。
- (2) ボールを落とす的 (備え付けている消防署もあります。)
数量が限られているため、確実に一つの的を落とす訓練となります。



4 進め方

(1) 事前準備

○ 水消火器の準備

水消火器を必要本数用意します。参加者数用意できる場合は、事前に水を充填しておく、当日エアーコンプレッサーを会場に持参する必要がありません。

○ 的の準備

【ペットボトルの的】・事前に空ペットボトル（1.5ℓのものがベター）を用意しておきます。
・約4分の1程度の水を入れて蓋をして、少し高い場所に必要数を並べます。

【ボールを落とす的】・台の上にビーチボールを風で飛ばない程度で固定し、必要数を並べます。

(2) 事前説明

「消火器のカットモデル」（消防署に相談しましょう。）などにより、消火器の構造や使用方法、粉末消火器や強化液消火器の特徴などを事前に説明します。

【強化液消火器】薬剤が霧状に放射され火を消します。

水系なので、冷却効果と浸透性に優れています。

【粉末消火器】粉末の薬剤が広い範囲を覆って、火勢を抑えます。

抑制効果により制炎性に優れています。

(3) 訓練実施

順番に消火訓練を実施します。終了後は消防職員に講評してもらいましょう。

ちよつと アドバイス

無理せず逃げて、119番

実際の火災では、火が天井まで燃え移ったら消火器での初期消火はせず、屋内消火栓などの消火に切り替えるか、速やかに避難し119番通報しましょう。

フォロー アップ!

【訓練を終えたら…】

☆家庭の消火器はどこにあるのか、各人に確認してもらいましょう。

☆家庭の消火器はどのタイプか（粉末、強化液など）確認してもらいましょう。

上級編の訓練として

小型動力ポンプ取扱い訓練

公園の防火水槽や防災資機材倉庫などに設置されている小型動力ポンプですが、消防職員や消防団員が火災で使用するホース・ポンプなどを使って放水訓練を行い、いざという時に使える技術の習得や訓練の必要性への理解を深めます。消防職員や消防団員の方の指導を受けましょう。

【用意するもの】小型動力ポンプ（1基）、50ミリホース（必要数）、ノズル（筒先）、水源（1～2トンの簡易水槽など）、標的（必要数）

【訓練の進め方】

- 1) ポンプや資機材の保管場所、水源の場所などを把握します。
- 2) ノズルやホースの伸ばし方、つなぎ方、はずし方

を学びます。

- 3) 動力ポンプのエンジンのかけ方、水の出し方を学びます。
- 4) 4人一組で、放水員、ポンプ員に分かれてポンプのエンジンをかけ、ホースを延ばし放水体勢をとります。水を出さない訓練を何回か行います。
- 5) 実際に放水をします。放水時の反動が強く危険ですので、絶対にノズルを放してはいけません。消防職員などが放水員の補助につきましょ。
- 6) 訓練終了後は資機材を撤収し、資機材庫に保管します。
使った資機材のメンテナンスは消防職員などに聞いてやってみましょう。

